

4月の園だより

太陽の子保育園 2024年4月号

桜の花も咲き始め、太陽の子保育園の一年がスタートしました。今年度も保育目標である「丈夫な身体と豊かな心を育てる」を合い言葉に、子ども達一人ひとりに寄り添いながら保育をしていきたいと思っています。

新入園のお子さんは新しい環境でとまどいがあると思いますが、一日でも早く保育園が安心できる場所となるよう、保育者との信頼関係を築いていきたいと思っています。在園児のお子さんも「ひとつ上のクラスになった」という思いで少し頑張りすぎてしまい、疲れがでたり、不安定になったりすることがあります。そのような子ども達の気持ちをしっかりと受け止め、進級が成長につながるよう、しっかりと保育をしていきたいと思っています。そのためにも、ご家庭と保育園が連携をとっていくことが大切ですので、お子さんに変化等が見られましたら遠慮なく職員にお伝えいただければと思います。



お子たちが安心して楽しい保育園生活を送れますように、下記のことに配慮していただきますようお願いいたします。

- ◎早寝早起き、朝食をとる、排便をするなど、良い生活習慣を身につけましょう。
- ◎持ち物には、すべて名前をご記入ください。
- ◎動きやすい服装・靴にしましょう。
・ひっかかりが少ない服 ・体や足のサイズに合ったもの

毎朝必ず健康観察をお願いします

子どもたちは新しい環境や緊張のため、疲れが出やすくなります。普段と様子が違う場合、登園時に声をかけてください。

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 1 睡眠 | 睡眠は十分ですか？
機嫌は良いですか？ |
| 2 顔色、食欲 | 顔色は良いですか？
ご飯はいつもと変わらないですか？ |
| 3 肌のようす | ブツブツが出ていませんか？ |
| 4 全体 | だるそうにいませんか？
下痢、便秘をしていませんか？ |



4月の予定

- 12(金) チューリップ畑(くま・らいおん)
- 15~19 身体測定
- 18(木) 音楽指導(幼児)
- 19(金) 避難訓練
- 22(月) 体育指導(幼児)
- 22(月) 職員研修
- 24(水) 春の健診(幼児)
- 26(金) こどもの日(誕生会)
- 26(金) 職員会議

5月の予定

- 10(金) 保育参加・懇談会(5いおん)
- 13~17 身体測定
- 15(水) 保育参加・懇談会(くま)
- 15(水) 春の健診(幼児)
- 16(木) 避難訓練
- 21(火) 音楽指導(幼児)
- 22(水) 調理保育(くま)
- 23(木) 懇談会(ひよこ)
- 24(金) 懇談会(ペンぎん)
- 27~31 職場体験(羽2)
- 28(火) 体育指導(幼児)
- 31(金) お誕生日会

年間予定変更

運動会総連 10/4 → 10/3

各クラスにある「連絡ノートケース」は卒園製作で卒園児さんがつくってくれたものです。



2023年度らいおん組 保護者の皆様から大型 LaQ セットを卒園記念品としていただきました。大事に使わせていただきます。

ご不要になった古タオルがありましたら、保育園までお持ちいただくと助かります

昨年度、古タオル寄贈をお願いした際には多くの方よりご協力いただきありがとうございます。今回また雑巾用のタオルが足りなくなってきましたのでお願いをさせていただきます。もし不要な古タオルがありましたら担任までお渡しいただくと助かります。

1・2・3歳は強情っぱり!?

1歳を過ぎると始まる「イヤ!」「イヤ!」の連発。その上、2歳ごろから自分の思い通りにならないと泣きわめき、「んもう、いいかげんにして!!」と言いたいママは多いはず。これってどうすればいいんでしょう?

子どもが納得しやすい言葉の例

1歳半から3歳ごろの子どもは、「〇〇しなさい!」という命令口調が大の苦手。子どもの思いを大切にしながら自分の思いも伝えましょう。

<p>気持ちに共感する 〇〇したかったのね。</p>	<p>思いを伝える お母さんは〇〇がしたいの。</p>	<p>物の気持ちを伝える クマさんは〇〇だって。</p>	<p>見通しをもたせる 〇〇したら〇〇しようね。</p>
<p>選ばせる 〇と〇とどっちにする?</p>	<p>尊重する 〇〇をお願いね。</p>	<p>理由を伝える 〇〇だから〇〇しようね。</p>	<p>スカートさん、まっ黒けで気持ち悪いって。きれいにしておけよう。</p> <p>これがいい〜。</p> <p>いっぱい歩くと、お父さんみたいに足が大きく強くなるよ。</p> <p>だっこ〜。</p>

大泣き・ひっくり返りが始まったら……

もうしかたない……しばらく泣かせて、ころ合いを見計らって「もう、おしまい」とか「さあいこうか」と気持ちの立て直しを図るしかないでしょう……。ふー。母は強くなるはずです。

<p>泣いてもだめよ</p> <p>お母さんのバカうわ〜ん</p>	<p>さあ いこうか</p> <p>そろそろいいかな……</p>	<p>「子育て支援 ひだまり通信」 高山静子著 チャイルド本社より</p>
-----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------------

- しばらく泣かせておきましょう。
- ころ合いを見計らって……
- 気持ちを立て直しましょう。

どんな子だって1歳~3歳ごろは強情っぱりであたりまえ。歩く前にはハイハイや尻もちをするように、強情、イヤイヤは子どもが自分をつくるためにどうしても通らなくてはならない道なのです。やがて、言葉での表現力、見通しをもつ力、状況の理解力などが育ってくると、強情っぱりは自然に消滅していきます。